

3 事業2年目の成果と課題

(1) 本事業による生活リズムに関する児童・生徒の変容	
○成果 - 体験型イベントでの夏休みの活動が、児童生徒に定着してきた。 - 生活習慣においては、小中学校共通の「家庭の3箇条」が実践されてきている。	●課題 - 児童生徒の主体的な取組として、定着させていきたい。 - 家庭の3箇条の中で、(ながら勉強をしない)について改善の対策が必要である。
(2) 「子どもの生活リズム向上」に関する保護者や教職員の意識や取組の変容	
○成果 - 地域のリーダーとなる保護者(地区役員)のご苦勞で、地域座談会を開催していただいたことは、保護者の取組に良い啓発となった。 - 学級担任は、家庭への啓発を学級通信等で行っている。	●課題 学校での生活指導と共に、学校と家庭が連携して、家庭での生活習慣の改善に継続して取り組む必要がある。
(3) 「子どもの生活リズム向上」に関する全保護者や地域住民への普及・啓発に関して	
○成果 体験型イベントにおける生活リズム向上推進活動は、各地区(公民館単位)で活動することにより、より多くの保護者や地域の方々が参加してもらうことができた。	●課題 「子どもの生活リズム向上」について、地域の意識をどのように啓発していくか工夫が必要である。 - 生活リズムの確立がまだ十分ではない家庭への地域からのより効果的なアプローチが必要である。
(4) その他事業全般	
○成果 次年度より、PTA組織が小中一体となるため「生活リズム向上」の取組も、より連携した活動が可能になると考えている。小中一貫したPTAの取組として位置付けていきたい。	●課題 体験型イベントの日時の設定を、小中合同で行うために調整が難しかった。
(5) 事業3年次(平成22年度)に重点的に取り組みたい内容	
○ 取組の内容としては、今年度を継続する形で進めていきたいと考えているが、家庭での過ごし方について、学習習慣の定着とテレビやゲーム等の視聴について改善策を講じていきたい。 また、就寝時間がやや遅い傾向にあり夜型生活の児童生徒も見受けられるため、生活時間のずれの改善が必要であると感じている。保護者に生活実態を投げかけ、改善意識を高めるため研修会等の計画をしていきたいと考えている。	